

2024年 競技者必携改訂主要6項目【抜粋】 20231207 理事会承認済み

No.	頁・行	現 行	改 訂	備 考
1	45P 1行目 54P 2行目	8 シートノック (1)～(4)までそのままとし(5)を追加する。	8 シートノック (1)～(4)までそのまま (5) <u>シートノックを行うことができない補助員もいることから、ベンチ前でのサイドノックを認める。</u>	
2	47P 3行目	20 試合中、ベンチ前のキャッチボールを禁止するが、ブルペンでのキャッチボールは2組4名以内を認める。	20 次のイニングで引き続き投げる投手は、 <u>ベンチ正面</u> でのキャッチボールを禁止するが、 <u>ベンチ外野側角からボール方向のファウルテリトリーでの軽いキャッチボールは認める。</u> また、ブルペンでのキャッチボールは2組4名以内を認める。	
3	48P 下から 2行目	3 タイブレーク方式 現状：0アウト・二塁、継続打順	3 タイブレーク方式 2024年野球規則には、0アウト二塁、継続打順と掲載されるが、全軟連は現状のまま0アウト・二塁、継続打順とする。	JABA、大学、高野連とも現状のまま
4	53P 16行目	登録され・・・各1名とする。ただし、監督、コーチは <b>成人者</b> でなければならない。	登録され・・・各1名とする。ただし、監督、コーチは <b>20歳以上</b> でなければならない。	黄色37P 規程細則に合わせる
5	67P 6行目	11 試合が開始されたら、控え選手は試合に出場する準備をしている者の他は、ベンチ内にいなければならない。ただし、攻守交代時に限り、控え選手がファウルグラウンドで外野の方向へランニングすることを認めるが、控え選手がベンチを出て…(省略)	11 試合が開始されたら控え選手は、 <u>むやみにベンチから出てはならない。</u> ただし、次のことを認める。 (1) 攻守交代時にファウルグラウンドでランニングをすること。 (2) <u>攻守交代時に自チームの練習をベンチ前で見守ること。ただし、球審の「プレイ」宣告までベンチに戻ることを。</u> (3) <u>攻守交代時に外野手とキャッチボールをすること。</u>	(1) 従来どおり (2) 改訂 (3) 新規
6	67P 下から 6行目	§4 試合のスピード化に関する事項 (1)監督またはコーチ等(少年部・学童部・女子大会は監督の三。以下同じ)が1試合に投手もとへ行ける回数は3回以内とする。なお、延長戦(タイブレーク方式を含む)は、1イニングに1回行くことができる。ただし、投手交代の場合は回数に含まない。 (2)監督またはコーチ等が1イニングに同一投手のもとへ2度目に行くか、行ったとみなされた場合・・・投手は自動的に後退しなければならない。(5.10㉔)。	§4 試合のスピード化に関する事項 (1) 監督またはコーチ等(少年部・学童部・女子大会は監督の三。以下同じ)が1試合に投手もとへ行ける回数は3回以内とする。なお、延長戦(タイブレーク方式を含む)は、1イニングに1回行くことができる。ただし、投手交代の場合は回数に含まない。 <u>(5.10㉔(2)は適用しない)</u> (2) <u>監督またはコーチ等が1イニングに同一投手のもとへ2度目に行くか、行ったとみなされた場合・・・投手は自動的に後退しなければならない。(5.10㉔)。</u>	(1) の末尾に追記 (2) 削除 《理由》投手のもとへ行ける回数を3回と決めているので、1イニングに2回行ってもペナルティを適用しない。